

後発医薬品を一目で識別でき、 医療費負担軽減にも貢献するソフト

急速なIT化が進んでいる医療現場では、病名や医薬品名から関連医療用語を検索できるソフト「ディカプレット(Dicapplet)」が注目されています。その新製品「ディカプレット薬価後発品パック」が、平成18年度診療報酬改定を受けて発売されました。ライター/橋本健一

簡単かつ 正確に入力できる 医療用語検索ソフト

「正確な医療用語やコードを、もっと簡単に入力できたら……」という声に応じて開発された、医療用語を簡単かつ正確に入力できるソフト「ディカプレット(Dicapplet)」。簡単に言えば、Windows上で



働いてくれる小さな入力変換ツールです。その中の「アプレット」に組み込まれるため、普段の漢字変換時には影響を与えることなく、医療用語の変換機能と辞書機能を発働できるのです。例えば、「どうしようびよう」と入力するだけで、関連した「標準病名(レセプト請求用傷病名)」「コード」

など178件のデータが表示されるようになっていきます。同じ症状なのに、入力する人によって異なった言い方で表現してしまうなどということもなく、入力ミスが手間どったり、入力ミスが後々まで影響することも防げます。さらに、医薬品の適応病名・禁忌なども確認できるので、投薬ミスなども防止できるでしょう。日々更新される膨大な数の病名や医薬品名も、同ソフトならインターネットを利用して、常に最新のデータにアップデートできます。

病名や適応症から 検索すれば 安価な後発品から順に表示

そんな「ディカプレット」の新製品、「ディカプレット薬価後発品パック」が発売されました。平成18年度診療報酬改定により、医師の

後発医薬品処方促進されることを受けて開発されたもので、約1万7000品目の医薬品の中から後発医薬品を一目で識別。病名や適応症などから薬品名を検索すれば、後発品がリスト表示されるようになっていきます。「後発品」とは、製造方法などに関する特許権の期限が切れた医薬品を、特許権者でない医薬品製造企業が、その特許内容を利用して製造した同種の有効成分を含んだものを指し、「ジェネリック医薬品」とも言われています。最近CMなどでも、よく耳にするようになりました。同ソフトは、医師側の後発医薬品に対す



ディカプレット (Dicapplet)
オープン価格

る抵抗を少しでも和らげ、患者の医療費負担軽減につながるれば……という期待を込めて開発されました。先発医薬品名から後発医薬品及び薬価を一覧表示するほか、一般名や適応症からの検索も可能。検索結果を薬価でソートしたり、薬効分類からも先発医薬品、後発医薬品及び薬価を検索することができます。電子カルテや医事会計システム、診療情報提供書、紹介状作成などに利用できるため、医師はもちろん、薬剤師、医療事務員など、医療従事者のパソコンには、ぜひ取り入れておきたいソフトです。

INFORMATION

アイティーコーディネート株式会社
 ☎03-5777-5471 ☎03-5777-5476
 東京都港区新橋6-17-17 御成門センタービル6F
 営業時間/9:30~18:00 定休日/土・日曜日・祝日
<http://www.dicapplet.jp/>